

第64号



NPO法人ユーアイやちよ
〒276-0034
八千代市八千代台西 8-16-1
TEL.047-482-4109
FAX.047-482-4179
<http://ui-yachiyo.sakura.ne.jp/>

25年度 社員総会の開催

去る5月18日に、市民会館に於いて、ユーアイやちよの通常社員総会が開催され、平成24年度の事業報告と決算、並びに平成25年度の事業計画と予算が承認されました。平成25年度の事業計画は次のとおりです。

- 比較的高齢の熟練ヘルパーの活動をできるだけ維持しながら、若手・中年のヘルパーの採用に注力し、身体介護サービスの提供も十分にできる体制をすすめる。
- 職員の知識と技術の向上を図り、サービスの質の向上に努める。ケアマネージャー、サービス提供責任者、ヘルパーの職員一人一人の自己研鑽を重ねていく。
- 訪問介護、居宅支援ともサービス提供体制を整えながら、票用拡大を進める。
- 地域支援（ボランティア活動）を地域と連携して推進する。

一人ひとりの「生きる」を支える ～ケアの本質・快互のすすめ～

研修会 5月18日 城西国際大学客員教授 松下やえ子氏

「今、あなたは人を支える仕事・役割（「生きる＝いのち」を支える介護）を通して、しあわせですか？」先生からの問いかけに、これまでの自分の仕事を振り返る大切さを学びました。「生きることは小さな自己決定の積み重ね」「利用者の立場に立って、利用者の自己決定を支えることが尊厳を支えること」「利用者の思い・願いに寄り添い、共に明日を描ける介護をしよう」「そのためには、自己研鑽が必要」そんないろいろなことを教えていただき、考える機会をいただきました。

～参加者からの感想～

- 「介護」は関係づくり、心が動けば身体が動く、目的があるから生きられる、これからも利用者の心に寄り添って生きていきたい。「働くこと」と幸福度、笑顔を忘れずポジティブに生きる、元気の源「一緒に楽しむ」ありがとうございました。(S.K)
- 人生の先輩と日々関わらせていただいて利用者さんの本音を聞き取れているか考えさせられました。介護のプロフェッショナルになるために、利用者さんの価値観を尊重し、また本音を言っただけのように、その方の心に寄り添った介護を心がけたいと思いました。(K. I)
- 人はいろいろ面倒なことがあるけれども、そのことによって自分も向上する、学びになるというお話、将来的、現実的なお話を伺い、参考になりました。非常時の備えもぬけているところがありました。良い話しをたくさんありがとうございました。(T.T)



もうすぐ87歳独り暮らし、目標は101歳！

-利用者さん（望月清武さん）-

5月末に転居したところ（住んでいたアパートを取り壊しのため）だが、まだ、「何かとせわしない」とのこと。「何がせわしない？」と伺うと「おワシ（お金）とおワシ（足）」と！住まいが変わったことで、家計の項目別の支出額が違ってきたし、足が（歩行）思うようには動かない……悩みだとのこと???

「一人で、こうして家にいられるのは、ヘルパーさんのお陰です」「ヘルパーさんとのお話も楽しみ。若いヘルパーさん、年配のヘルパーさん、皆それぞれよくやってくれます。タッチしてません」?? 「101歳まで生きるのが目標です！」

『頑張りましょう!!』

インタビュー 椎名

ふれあいサロンやちよ緑が丘～いわき仮設住宅の皆さんへ

大震災から2年以上たった被災地訪問交流会に参加しました。ユーアイやちよから用意した小物作りのほか、一つのテーブルで、緑が丘サロンの有志から託された折紙のドラえもんを一緒に折りました。完全にその折り方をマスターしていなかったので汗だくでの数十分でした。

ドラえもんを折りながら、お一人の方は津波の時の様子を「津波に気づいてすぐ、ご主人を二階に引っ張り上げ、やっとのことでひと息ついた時、一階は水浸し。家の中のものは、すっかり水に持って行かれた……」と、淡々と話されました。その胸中を察するには、あまりにも深刻な内容で、もっともっと、ゆっくりと時間があったら……と残念でした。

山根 聡子

「今、住民参加型在宅福祉サービスが求められている背景と期待」

全国社会福祉協議会市民活動振興センター 後藤信一郎氏

（背景）現行制度では、対応できない多様なニーズがある

（期待）①参加型（生活支援サービス）の特徴（固有性）

- ・人と人のつながりを尊重したサービス
- ・生活に寄り添うサービス
- ・ニーズに即したサービス

②今後を考える上でのキーワード

- ・「地域の福祉力」向上・社会的排除と社会的包摂・防災・減災
- ・共同（一緒にいる）協同（一緒に働く）協働（同じ意識を持つ）
- ・情報共有・関係性の構築、まちづくり・政策提言

◎団体がどんな地域を目指す？→自分のすることは？→常に見直す

（千葉県たすけあい協議会 25年度総会 研修会 椎名美代子）



平成 25 年度賛助会員の皆様

K.M・K.I・H.I・M.I・T.I・K.O・K.S・
T.S・T.S・Y.S・K.S・Y.S・F.T・M.T・
K.F・H.M・S.M・S.Y・G.Y・J.T・K.W・
K.M・N.T・M.O・S.T ご支援を有り難うございます。

■ 健康でいるための活動目標

1日40分動けばお達者に！（厚生労働省研究班）

散歩、ストレッチなどどんな活動でも、毎日合計40分程度、身体を動かす高齢者は、10～15分程度の人よりがんや生活習慣病、関節痛、認知症になるリスクが平均、21%低いことが分かった」という。

活動量が増えると、がんのもとになる細胞ができにくくなるほか、血の流れがよくなる事が理由らしい。

■ 健康寿命とは

健康上の問題で、日常生活が制限されることなく、生活できる期間をいう。平均寿命から日常生活を大きく損ねる病気やけがの期間を差し引いたもので、日本人の健康寿命は男性73歳（平均寿命は79.4歳）女性78歳（平均寿命は85.9歳）です。

● 微笑みの輪 ～ヘルパーのリレーメッセージ～

栗田 万記子さん

(1) ユーアイやちよに入会してどのくらい？

約1年半

(2) 好きな言葉は？

さりげない

(3) 仕事で心がけていることは？

つかず離れず、寄り添い、観察！

(4) 利用者さんとの思い出、心に残っている言葉は？

訪問時に「ありがとう」帰る時は「又来てネ」とこちらが言うべき言葉を先に言って頂き、うれしく、恐縮します。

(5) 仕事以外で楽しいことは？

お花見、スーパー銭湯、お祭りなどのイベントに出かける事。



次回は、吉村香代子さん に、お願いします。

★行事報告

- 4/20 4月定例会 24年度の反省と新年度の抱負
- 4/20・21 福祉有償運送運転者認定講習 女性3名
- 4/24 八千代市介護サービス事業者協議会総会
- 5/16 「語らいパートナーの会」定例勉強会
- 5/18 25年度総会
講演「人を支える」城西国際大学客員教授 松下やえ子氏
- 6/15 6月定例会
研修「感染症・食中毒」八千代市保健センター 保健師 長谷川恵美氏
- 6/22 千葉県たすけあい協議会総会 千葉県福祉センター
- 6/25 いわき市中央台第一仮設で被災者の方々と交流会 ボランティア参 12名
- 7/10~ 精神障害者ホームヘルパー研修
- 7/10~12 運行管理者基礎講習
- 7/20 7月定例会
研修「法令遵守」
ユーアイやちよサービス利用者アンケート



☆行事予定

- 8/28 元Jリーガー車椅子バスケットボール選手「京谷和幸氏講演会」
生涯学習センター 介護サービス事業者協議会研修会
- 9/21 9月定例会
研修「身体介護・調理実習」
- 10/19 10月定例会
研修「認知症の方々により良く接するために」
- 11/16 11月定例会
研修「医学的基礎知識」



編集後記

5月の研修会では松下先生から「利用者の思いや願いに寄り添う」ことの大切さを学びました。そのためにはやはり傾聴の姿勢で相手の思いをじっくり聞くことから始まるのかなと思いました。傾聴はただ表面的に相手の話を聞くのではなく、もっと深い部分にあるその人の心を聞くことが大切なのではないかと思います。いつもしっかりと聞いてもらえるという安心感の中で、利用者さんから本音を語ってもらえるようになるのではないかと思います。「聴くこと」は忙しい中では大変なことですが、できるだけ時間を作って聴けるようになりたいなと思います。 網干

ユーアイやちよ の あゆみ
編集人 網干勝 発行人 桃井哲朗、椎名美代子